



とらいあんどぐる



2020 年 8 月

一音会ミュージックスクール発行

「あとから気がつく」

私の 2 人の子どもたちは、もう高校も卒業し、おとなの入り口に立つ年齢になりました。

子どもたちが小さかった頃の思い出は、強烈な感情をとまなう記憶であったものも、長い時間の中で、どこかおぼろげになってしまったものもあります。

しかし、だからこそ、当時のことを思い返して、「ああ、実はそういうこ

とだったのか」と気づくこともあるのです。

時間というのは、ありがたいものです。当時、混乱していた自分のことも、客観的に見ることができるようになっています。当時は渦中にいるために、私自身が必死になりすぎていて、気がつかないのです。

私にとって、はじめての子育てになるキョウコは、本当にいうことをきいてくれない子どもでした。

子育て初心者には、本当にきつい子どもだったと思います。

「これをやって」には、たいてい「イヤ！」といます。もしくは無視です。

「やってはダメ」のことは、ピンポイントで突いてきます。

家の中で、私とキョウコと2人の世界の時は、ふりまわされっぱなしでした。

でも、私がキョウコにあわせてしまえば良いので、まだ良いのです。

本当に困るのは、親子以外の人がかからむ時です。

特に追いつめられるのは「今すぐ、これをしなくちゃ！」と、時間がせまっている時です。



幼稚園の登園時間がせまっている。

一音会のレッスンの時間がせまっている。

歯医者さんの予約時間がせまっている。

お友だち（のお母さま）と約束した時間がせまっている。

もう出かけなくちゃいけないのに！
なんでオモチャを手放してくれないの！

なんで服を着てくれないの！
なんでトイレに行ってくれないの！
そもそもなんでギャーギャー泣いてるの！

はやく泣きやんで！

キョウコを急き立てながら身支度をして、出かけた末、遅刻になってしまいうことも、しばしばでした。

出かけた先では、いろいろな方に平謝りです。幼稚園の先生にも、一音会の先生にも、歯医者さんにも、お友だちのお母さまにも。

私は、ひどく落ち込んでいます。

落ち込んでいる、などという言葉ではあらわせないほど、私はなぜか、ものすごく打ちのめされています。どうしてそんなに打ちのめされているのか、自分でもわけがわかりません。

その時の、絶望にも似た「ガッカリ」の感情だけは、今もはっきり覚えています。

そして今、気がつくのです。

キョウコがいうことをきいてくれなくて私はガッカリしていると、当時は理解していました。でも、本当はちがうのではないかと？

キョウコがいうことをきかないのは、いつものことです。

家の中で過ごしている時は、この強い「ガッカリ」を感じません。私の強いキョウコと、てきとうにやり取りしながら、それなりに心楽しく暮らしているのです。

私は結局のところ「子どもにいうことをきかせることもできない、未熟な母親」、「母親なのに約束の時間も守れない、だらしない人」と、周りのお

となに思われることが、イヤだったのだと思います。

子どもを持つまでは、時間に几帳面な人間であることを自負していました。待ち合わせで、他人を待たせたことがありません。

小心の私が長年かけて、誠実にコツコツと積み上げてきた私の評価が、子どものせいで真っ黒にぬりつぶされるような気持ちがしていました。

だからそんなことで、深く絶望してしまうのです。

「そんなこと」といつてしまえるのは、20年近くの歳月が経っているからです。

当時の自分に、「子育て中は、他人の目なんか、気にしていると、なにことも進まないよ？ 子どもを落ち着かせたかったら、まず自分が落ち着こう。肩の力を抜いて」といつてみたい心境です。



話は変わります。数年前の発表会で
のできごとです。

舞台袖で、何人かの生徒さんが、出
番を待っていました。

その中で、一人の生徒さんが、泣き
じゃくっていました。4歳くらいの生
徒さんです。

「出たくない！」と泣いています。
その場の独特の雰囲気、こわくな
ってしまったのでしょうか。その気持ち
は、よくわかります。

お母さまは、必死で説得していまし
た。

「あんなに練習したのだから、出な
いと！」

「上手に弾けているから大丈夫！」

「おじいちゃんとおばあちゃんも、
観に来てくれているから！」

「お友だちも、みんな出ているよ？」

「すぐ終わるから！」

「本当にすぐだから！」

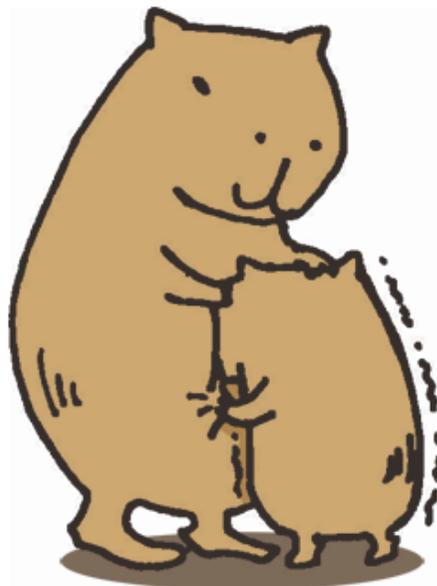
「終わったら、なんでもオモチャ買
ってあげるから！」

お母さまは、膝をつき、その子の顔
をのぞきこみながら、持てるすべての
言葉を使って説得していらっしやいま
した。

お母さまは真っ赤な顔で、汗だくだ
でした。汗をぬぐう余裕もなく、必死に
語りかけていらっしやいます。

なぜなら、その生徒さんの出演の順
番がせまっているのです！

私はそばにしながら、なんと言葉を
かけたら良いか考えあぐね、それでも
良い言葉が浮かばず、立ち尽くしてい
ました。



その時、お母さまが私の気配に気がつき、はじかれたように立ち上がりました。

「先生！申し訳ございません！こんなご迷惑をおかけして！」

深く頭を下げられました。

お母さまの顔から、汗がしたたり落ちました。

私は、遠い昔、出かけようとしないうキョウコを説得し、汗だくになっていた自分の姿を思い出していました。

ひどく胸がしめつけられ、思わずいました。

「とんでもありません。迷惑だなんて、そんなことはありませんよ！あり得ません！」

そして、伝えたところで解決にはならないかもしれないと思いつつ、その時の私の本当の気持ちをいいました。

「今日まで練習してくださったこと。ご参加をお決めくださったこと。暑い日なのに会場まで来てくださったこと。すてきな洋服をご用意くださったこと。すべてに感謝しています。もし舞

台に上がれなくても、今日まで練習して上手になられたことに変わりはありません。私は今この瞬間、本当にうれしく思っていますよ！」

お母さまは、その瞬間、「あ、出られなくてもいいんだ。出られなくても先生は迷惑じゃないんだ」と、ほっとされたのが、お顔に出了ました。

その後、その生徒さんは、泣きやんで、普通に舞台に上がったのです。

出番がせまって、必死に説得していたお母さまの姿は、時間に間に合わせようとキョウコを急き立てていた、かつての私の姿に重なります。

お母さまが追いつめられて、いつも違う様子であったことに、その生徒さんは緊張がつのってしまったのかもしれない。お母さまがほっとしたこと、生徒さんもほっとできたのかもしれない。

かつて、キョウコを急き立てていた私は、おそらく真っ赤な顔をして、目がつりあがり、般若のような顔で大声を出していたのです。

そりゃあ、泣くよね・・・。

今なら、そう思います。

発表会に話を戻します。

どんな結末であっても、かならず良い思い出になります。

私自身、子どものころ、発表会ではいろいろやらかしましたが、どの思い出も、思い出すと心があたたかくなる大切な思い出です。

どんな舞台であっても、私どもには喜びと感謝しかありません。演奏が上手だったかどうかなんて、実はどうでもいいのかもかもしれません。

どうか、おうちの方は肩の力を抜いてください。

お子さまの成長を、喜んでください。

発表会を心から楽しんでください。

おうちの方が楽しければ、お子さまも楽しいのです。

万が一、舞台上でアクシデントがあっても、たとえ舞台に上がれなくても、その日はお祝いです。

「今日まで、よくがんばったね」といって、お子さまの好きなごちそうをいっしょに食べてください。

(江口 彩子)



◆もうすぐ「ピアノ発表会」です

8月13日（木）より、「ピアノ発表会 しおり」と「ピアノ発表会 プログラム」をお配りします。主担当の先生からお渡しするようにしていますので、まだお手元にな
い方は、主担当の先生にお声かけください。

ぜひ、ご自身のお名前をプログラムでご確認ください。

入場は無料です。1年に1度の大きな晴れ舞台ですので、ご親戚の方やお友だちにも、ぜひ広くお声をかけてください。

今年のピアノ発表会は、下記の通りです。

8月28日（金）・29日（土）・30日（日）

清瀬 けやきホール

（西武池袋線「清瀬」駅北口より徒歩4分）

お忙しい中、多くの方がご参加をお決めくださいましたことに、深く感謝して
います。

皆さまから挙げていただきましたご希望の通りに、お組みできたと思っております。
そのかわり、ご希望の方が多い部は、若干、長くなってしまいました。

8月29日（土）の第1部と30日（日）の第1部と第2部は、特に多くの生徒さん
がお申し込みくださいました。そのため、当初の想定よりも長くなることが予想さ
れます。

上記の部に関しましては、部の中でのおおよその進行時間の目安を、「発表会のし
おり」に記載させていただいています。そのお時間を目安に、お越しいただければ大丈
夫です。

ただし、お一人お一人の演奏時間の見積もりはおおよそであり、これから演奏順の
変更も生じ、時間は少し前後すると思われます。出演20分前には舞台袖にお集まり

いただかなくてはならないことも考えますと、1時間ほどの余裕をもって、会場にお越しいただきますことをお願いいたします。

また、たいへん申し訳ないことですが、29日(土)の第2部と第3部、30日(日)の第2部と第3部に関しましては、前の部の終了が延び、開演時間が若干、遅くなる可能性がございます。後にご予定をひかえてお急ぎの方は、その部の中で、はやい演奏順に変更することもできます。演奏順につきましてのご相談は、本部にご連絡ください〔本部：03-5966-7711〕。



◆発表会 with コロナ

今年は、新型コロナのことがありましたので、ご参加くださる方が少なくなってしまいかもしいろっておりました。しかし、たくさんの生徒さんにお申し込みをいただき、結果的には昨年とほぼ同じ数の方に、ご参加をお決めいただきました。たいへんうれしく思っています。

もちろん、感染防止対策は、厳重にさせていただきます。日々、感染のことがニュースになる中、お申し込みいただきましたのは、教室の感染防止策にご信頼をお寄せくださった証と肝に銘じ、さらなる努力を重ねたいと思います。

当日は、手洗い、アルコール消毒、マスク着用等、ご協力をお願いすることが、たくさん発生してしまいますが、どうかご協力をよろしくお願いいたします。くわしくは、「発表会のしおり」に、お願いごとを書かせていただきました。

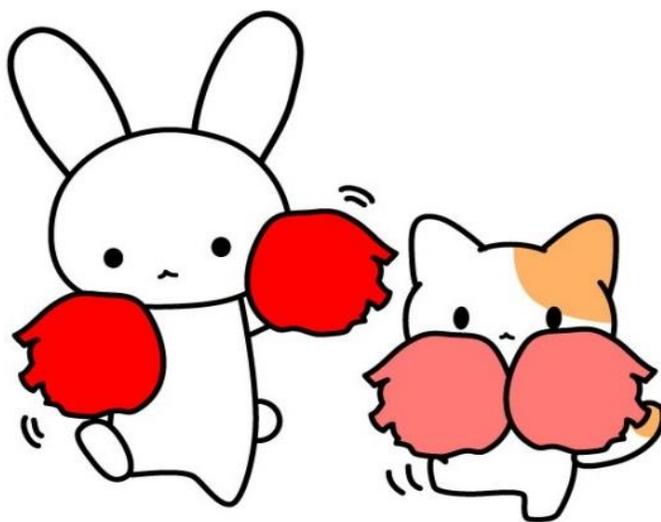
正直に申しますと、生徒さんやご家族の皆さまは、教室でのルールをすでにご理解くださっているので、不安がありません。発表会の会場で感染防止のためにおこなうことは、教室で日常おこなっている対策と、基本的には同じです。

若干、不安であるのは、当日、会場に招かれていらしている、おじいさま、おばあさま、ご親戚やお友だちの方です。皆さまがお招きになる際に、発表会でのルールを、今一度、お知らせいただけますと幸いです。

感染防止の注意はもちろんですが、演奏中の立ち歩きや出入り禁止、撮影ゾーン以外での撮影禁止といった基本的なルールも、ぜひお伝えください。

生徒さんにご家族の皆さまに、「参加して良かった」と思っていただけの発表会にしたいと思っています。スタッフ一同、そのために、生徒さんが舞台にあがる瞬間まで、努力を続けます。ご不明なこと、ご不安なことがあれば、ご遠慮なくご相談ください。

当日、スタッフは全員、一音会Tシャツを着ています。もし困りのことがあれば、スタッフにお声をおかけください。



◆スケジュールを今一度、ご確認ください

非常事態宣言下で休校を余儀なくされたため、実際の暦とズレた形で、スタートした今年度のレッスン暦です。

この3か月間、「いったい今は何月のレッスン？」と、よくたずねられました。分かりにくく、皆さまには、たいへんご不便をおかけいたしました。

ここに来て、夏休みがズレを吸収する形で、かなり実際の暦に近づくことができたのではないかと思います。今年は、夏休みが短く、8月9日（日）～12日（水）です。その間は、お問い合わせにお応えできなくなりますことを、ご了承ください。

また、例年は発表会の翌日から夏休みでしたが、今年は違います。翌日から通常通りのレッスンをおこないます。ご注意ください。

発表会前後のレッスンスケジュールを、以下に貼っておきます。今一度、レッスンの日にちを、ご確認ください。

	日	月	火	水	木	金	土
8月	9	10	11	12	13	14	15 ▲
	16 ◎	17	18	19	20	21	22 ■
	23 ○	24	25	26	27	28 発	29 発
	30 発	31	9/1	2	3	4	5 ▲
9月	6	7	8	9	10	11	12 ■
	13 ○	14	15	16	17	18	19 ▲
	20 ◎	21	22	23	24	25	26 ■
	27 ○	28	29	30	9月分は10月に続きます		

*スクールの生徒さんのご質問を、以下の2つの方法で受け付けています。

メール：1000@ichionkai.co.jp 電話：03-3954-9999

*お電話での質問時間は、毎週月曜日の午後7時～9時です。ただしレッスンがお休みの日は、質問もお休みとさせていただきます。

*ご質問は、お一人でも多くの方のご質問にお答えするために、お1人10分を目安とさせていただきます。ご了承ください。